

第42回社会人野球日本選手権大会要項

1. 主催 公益財団法人日本野球連盟 毎日新聞社
2. 共催 大阪市
3. 会場 京セラドーム大阪
4. 主管 日本野球連盟近畿地区連盟
5. 後援 スポーツニッポン新聞社、NHK大阪放送局、大阪シティドーム、共同通信社
6. 期日 2016年10月29日（土）から11月8日（火）11日間
7. 代表チーム 32チーム
■推薦＝2チーム
第87回都市対抗野球大会優勝チーム 1
第41回全日本クラブ野球選手権大会優勝チーム 1
■対象JABA大会優勝＝11チーム
北海道、東北、日立市長杯、東京スポニチ、長野県知事旗、静岡、ベーブールズ杯、京都、岡山、四国、九州の各大会優勝チーム
■各地区最終予選枠＝19チーム
北海道1 東北1 関東4 北信越1 東海3 近畿4
中国2 四国1 九州2
※但し、都市対抗、クラブ選手権、JABA11大会で1チームが複数大会に優勝した場合、当該チームが所属する地区の最終予選枠に該当分を加える。
※加盟外チーム（プロ球団等）が優勝した場合、準優勝チームが所属する地区の最終予選枠に加える。
8. 入場料 京セラドーム大阪 特別席券（当日） 1,200円
特別席券（前売） 900円
特別席券（中高生） 500円
チーム券 650円
日本野球連盟一般賛助会員（JABA会員）
特別席券 800円
9. 組み合わせ抽選規則等説明会 日時：10月6日（木）14：00～（13：30受付開始）
会場：ハートンホール
大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビルB1F

10. 出場資格 (公財) 日本野球連盟登録規程を適用する。
11. 出場選手登録 予選・本大会とも、選手登録期間第2期(7月1日～8月31日)末日まで又は、各地区最終予選開始10日前までに登録を完了した者に限る。推薦出場チーム、JABA大会優勝チームは、所属する地区の最終予選開始10日前までに登録完了した者とする。
12. 試合出場選手 25名以内を毎試合大会本部へ届出なければならない。
13. 表彰 優勝チームに優勝旗、表彰状、佐伯達夫杯、大阪市長杯および優勝メダル、優勝エンブレム、チャンピオンフラッグを贈る。
準優勝チームに準優勝トロフィーおよび準優勝メダルを贈る。
(3位決定戦は行わない) 優勝旗、佐伯達夫杯、大阪市長杯、準優勝トロフィーは持ち回りとし、前年度優勝・準優勝チームにはレプリカを贈る。
※優勝エンブレムは、翌年の日本選手権までの1年間ユニホームに貼付することができる。代表チームにはそれぞれ第42回大会出場認定証を贈る。
14. 個人表彰 表彰部会の決定によって次の表彰を行う。
△最高殊勲選手賞
△首位打者賞
※準決勝に進出して、4試合(12打席かつ10打数)以上出場し、最高打率を記録した選手。但し、同率の場合は、総安打数・総塁打数・総打点数の多い順とし、なお、同数の場合は、すべての該当者を首位打者とする。
△敢闘選手賞
△打撃賞
15. 試合方法 トーナメント方式で行う。
16. 適用規則 2016年公認野球規則並びに社会人野球内規、京セラドーム特別規則による。
17. 予選 (地区連盟大会) 予選方法、実施期日などは各地区連盟に一任するが、原則としてトーナメント方式で行う。
各地区代表チームの決定は9月26日(月)までに終了し、代表チームは、日本野球連盟登録システムにおいて大会出場エントリー(出場承諾書の申請)を済ませること(9月27日(火)申請締め切り)
18. 応援団会議 日時: 10月7日(金) 13:00～(12:45集合)
会場: 京セラドーム大阪内会議室
大阪市西区千代崎3-中2-1
19. 特定試合シード 1回戦16試合を特定試合シードの対象とする。
詳細は別途定める。

20. 優勝旗等返還

日時：10月29日（土） 第一試合開始前

場所：京セラドーム大阪

返還内容

1. 優勝旗の返還（日本生命チーム代表選手）
2. 佐伯達夫杯の返還（日本生命チーム代表選手）
3. 大阪市長杯の返還（日本生命チーム代表選手）
4. 準優勝トロフィーの返還（Honda チーム代表選手）

※全体での開会式は行わない

21. 閉会式（決勝戦終了後）

1. 大会役員整列
2. 選手整列 優勝、準優勝チーム選手は投手板を中心に整列
3. 表彰状授与
4. 優勝旗授与
5. 佐伯達夫杯授与
6. 大阪市長杯授与
7. 優勝エンブレム授与
8. チャンピオンフラッグ授与
9. 準優勝トロフィー授与
10. 大阪シティドーム賞授与
11. 優勝メダル授与
12. 準優勝メダル授与
13. 個人賞授与
最高殊勲選手賞、敢闘選手賞、打撃賞、首位打者賞
14. 閉会の辞
15. シーズン終了のご挨拶
16. 国旗降納
17. 選手退場
18. 役員退場

22. 審判員 大会審判員は大会実行委員会が委嘱する。

23. 傷害処置 試合中の負傷又は疾病に対しては主催者で応急処置を施すが、これ以外の責任は負わない。

日本野球連盟

毎日新聞社